

沼倉 瞳 隊員の 地域おこし協力隊通信

平成 26 年
11 月発行
第 7 号



クリスマス会に参加しました！

11月23日、厚田小学校にて「おやじいの会」によるクリスマス会が行われました。

クリスマス会を盛り上げるため、外ではお父さん達がトドマツにイルミネーションの飾り付けを、教室内ではお母さん達がお菓子とクリスマスプレゼントを準備していました。

参加した子どもたちは小学生だけでなく未就学児もおり、高学年の子は小さい子の面倒を見ながら年齢関係なく全員で仲良く遊んでいるのが印象的でした。



私も子どもたちと一緒にクリスマスソングを歌ったり、パフェを手作りしたり、クリスマスツリーの飾りつけ

をしたり、楽しい時間を過ごしました。

太陽が沈み、辺りが暗くなったころ、いよいよイルミネーションが点灯されます。



全員でカウントダウン。ツリーが明るく彩られた瞬間、大きな歓声が湧き上がりました。お父さんお母さんの愛と子どもたちの笑顔に包まれた、心温まるイベントでした。

▲厚田小に登場した大きなクリスマスツリー

「地域資源」についてお話ししました

前職のご縁で、小樽市の観光ボランティアガイドさんに向けて「地域資源に光を当てる意味と手法について」というテーマでお話しさせていただきました。私が厚田に着任してから約半年の間、潮の香り、波の音、田んぼ、お米に対する愛着など、たくさんの厚田の地域資源を発見しました。その経験を織り交ぜながら、よそ者を感動させる地域資源は日常生活に埋もれているということを精一杯伝えました。

自身の経験や考えを文章にすることによって、厚田を改めて見つめる良い機会となりました。



▲最後まで真剣に聞いていただけました

ヤーコンのきんぴら

石狩市の農家さんからヤーコンをいただきました。ヤーコンはサツマイモに似た根菜で、シャキシャキした歯ごたえが特徴です。ヤーコンを調理するのは初めてだったので、厚田のおかあさんに調理法を伺ったところ、きんぴらにするのがおすすめとのこと早速作ってみました。作り方はきんぴらごぼうと同様ですが、ヤーコンにはオリゴ糖が豊富に含まれており甘味が強いので、砂糖は使用しません。自然の味で美味しく仕上がるため、ダイエット効果がある野菜としても注目されているようです。



ウラ面は小島隊員に続きます！



「カローリング」に挑戦しました

小島 拓也 隊員の 地域おこし協力隊通信

初雪も降り、これからついに厚田の冬を体験する事が出来ます。冬の間は皆さんと外で会う日も少なくなりそうですが、ジャンボツリーやウインターレクフェスティバル、しめ飾りづくり、凍る滝やニシン漁など、沢山のものを見に行きたいと思います。

[最近は、こんなことをしました。]



11月17日と22日に、JA北いしかり女性部 厚田ブロックの皆様による味噌づくりを見学しました。作るのは1斗樽で100樽分！こうして無添加で手作りされている様子を見てからだと、味噌汁もより一層美味しく感じられそうです。



11月13日、厚田老人クラブさざなみ会の皆様の防災訓練を見学しました。消防署の方に教わって119番への訓練通報をしたり、実際に消火器を持つての練習などをしたりしていました。こうした実地訓練を常に行う事で、災害への危機意識を忘れない様にすることが大切だと感じました。



11月15日に解禁となったハタハタ漁、15日は時化していた為、16日に網を入れ、17日に上がったそうです。この写真は古潭の漁師さん。朝から初物を買いに来た車が続々と入ってきていました。網はずしの方も大勢でとても賑やかでした！



こちらは厚田港で獲れたハタハタの写真です。実際に網はずしも体験させて頂き、トゲを指に刺したり、ブリコを出してしまったりと、失敗も一通り体験しました。今年は初日のみが獲れて、その後はあまり獲れていないようですが、それでも昨年よりもまだ獲れている方だそうです。漁期は12月10日までの予定だそうですので、もうひと波来て欲しいですね。



11月17日に鵜泊の港に行ってみると、いすしづくりが始まっていました。写真は、大きな桶に入ったカジカの切り身です。厚田名物のいすしは魚の種類だけでなく、お店によっても味が違うと聞いていますので、いろいろ食べ比べてみたいと思います。



10月26日に厚田公園からスタートして、濃屋山道を走って往復する、GOKIBIRU TRAILというイベントの手伝いをしました。全道から300人も皆さんが厚田に惹かれて集まって下さるのは、大変嬉しい事です。

《他にも…》

- ・全道のまちづくりイベントに出席したり、石狩市以外の地域おこし協力隊の取り組みを見学しに行ったりと、各地を飛び回っています。せっかく学んだ事を、皆さんにもお伝え出来る場を作りたいと考えています。
- ・任期終了後も厚田で暮らし続けられるように、どんな商売を始めるか色々と考えています。今のところは、先月の通信にも書いた通り「おでん屋さん」を移動販売でやりたいと思い、調べたり聞いたり準備を進めています。

【小島隊員はなぜ“おでん屋”になりたいのか】

私は、厚田は農業・漁業が元気なところだと考えています。厚田の美味しいものを、厚田の外の人にもっと知ってもらいたい、そして農水産物を厚田に買いに来てもらいたいと考えました。海のもの・山のもの・畑のものを一緒に食べられるおでんなら食材の味をそのまま味わって頂けると思い、移動販売車で厚田の内外を走り回って皆さんに食べてもらい、厚田をPRしようと考えています。

美味しいおでんを作る為、これからも厚田の美味しいものを沢山食べたいと思います。応援お願いします！

厚田区地域おこし協力隊 小島 拓也

携帯電話：080-6069-5304

E-mail(個人)：ishikarishitsutakukojima@gmail.com

※1号・2号に記載のメールアドレスに誤りがありました。お詫びして訂正致します。

Facebook(フェイスブック)で、

厚田での暮らしを発信しています！

<https://www.facebook.com/kojitaku>

ウラ面は沼倉隊員に続きます！